

# 街を行く

第49回 富山 Toyama

## 観光と環境で街おこしなるか でも、少し奥ゆかし過ぎますよ

10年ぶりに富山の街を訪れました。富山駅前には来る北陸新幹線の開通に向けた整備で忙しそうでしたが、その割に昼夜を問わず人通りが少なかったことには残念です。駅前商店街の衰退は、何もこの街に限った話ではありませんが、今回の訪問で改めて地方都市の現状を思い知らされました。

さて、この街の大きなポイントは、「空港が市街地と近い場所にある」ということ。それだけに東京とのアクセスを考えると、「ほんとうに新幹線が必要なのか?」と、ちょっぴり疑問が湧きます。もちろん地元の皆さんにとって、長い間の悲願だったことはわかるのですが、冷静に考えて本当に地元にも有益であるのかどうか…。確かに、東京から電車で2時間ちょっととなれば、空港へのアクセスやチェックイン、予約などの手間がかからず非常に簡単・気軽です。その意味では今より観光客を集めやすいというのは事実でしょう。ただし、その一方で地元民の東京への流出も見込まれることにもなります。街の活気を支える若者の姿がますます見られなくなるのではないのでしょうか。もっとも、今や地方都市に期待されるのは「観光都市としての顔」でしょうから、致し方ないのかもしれません。

観光と言えば、岩瀬町(富山市)の旧北国街道に見られる「北前船廻船問屋街」は趣があり良かったですね。富山駅から岩瀬町までは、「ライトレール」というヨーロッパの街でよく見かける2、3両の軌道電車で訪れました。

中高の日本史の授業にも出ていた「北前



北陸新幹線開通に向けて慌ただしい駅前工事と、趣がありながら少しサッパリしすぎの北前船の記念灯台

船」を覚えていますか? 北陸以北の日本海沿岸諸藩から下関を經由して瀬戸内海の大阪に向かう経路で、富山では海産物を積んで行き、帰りには医薬の原料などを仕入れてきたそうです。交易で富を得た立派な問屋の屋敷が立ち並ぶ様子は、活気に溢れていた当時の街を思い浮かべさせてくれます。でも何故かさっぱりとしすぎて、もっとテーマパーク的なギラギラ感があっても良いのかなと思いました。豊富な海の幸の漁場とアルプスの山々に囲まれた大自然に恵まれ、かつ東京との利便性が良くなって行くのですから。北陸の方は奥ゆかしすぎるのか、小生がギラギラ好きなのか…。

観光以外での街おこしとなると産業誘致でしょうね。いま、富山が街を挙げて取り組んでいるのが省エネや環境に優しい街づくりで、国連の認定も受けた「エネルギー効率改善都市」です。環境に優しく地球温暖化にも対応できるすごい試みですが、最終的には安価なエネルギーをいかに供給していけるかです。日本はエネルギーコストが高く有名ですが、削減につな



がれば、海外からの工場や研究施設の誘致が進むでしょう。でも、利便性に関しては近隣の「金沢」も同じことですから、その違いをハッキリさせることも重要になってくるでしょう。

富山を訪れたのは水曜日。実は、その日は多くのお寿司屋さんが定休で残念でした。皆さん、曜日の確認だけはくれぐれもしっかりと(トホホ)。

### 南 一 弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役役に就任。